

須賀川市内へのクロスカントリーコース設置について のご提案 “魅力あるトレーニング環境整備とは”

～2020年東京オリンピックを目指す
子供達への贈り物～



2013年12月2日
ふくしま駅伝須賀川市チーム
監督:水野 武

～はじめに～

今回このようなプレゼンの機会をいただき感謝申し上げます。

陸上・ランニングは他のスポーツ強化にも十分役立ち、競技団体の枠を超えて、市民の理解を得られると信じております。下記は私が長年考えていた構想を記載したものです。

～円谷ランナーズホームページ～ <http://www.tsuburayarunners.com/information.html>

■福島県内の中で、交通の便も良く、震災後の住環境も比較的恵まれている事もあり、

★近い将来（3年～5年以内）、クロスカントリーコース設置、

※設置費用としてはピン(1千万)キリ(3億)ですが、5千万円から1億程度の予算は…

《福島県内クロカンコース例》

- ・福島県鮫川村『鹿角平クロスカントリー』
- ・西郷村『甲子高原きびたきの森クロスカントリーコース』
- ・田村市『常葉クロスカントリーコース』

★長期的（10年以内）構想として、陸上競技場設置を、須賀川市と共に実現出来るよう活動してまいります。

※2014年長崎国体の陸上競技場建設費が31億と、あるホームページに談合云々で出ておりましたが、

正直ギリギリ詰めていけば3分の一、10億位では可能かとも考えております。（根拠はありませんが…）

立地条件は決して、福島空港近くのような“市民が利用しづらい”場所ではなく、牡丹台そば等の、

市民(未来へつながる小中学校)が、普段から利用でき、且つ将来性の見込める場所でなくてはなりません。

この施設設置構想計画は、陸上競技団体（実業団や大学）の“合宿村”として誘致し、円谷選手の、生まれ育った、オリンピックマラソン銅メダリストの故郷である須賀川市にとって、最高の目標ともなり、この事により、沢山の方々が須賀川市を訪れ、一つのスポーツ競技団体活動の枠を超えた活動になるものと考えております。

経済効果として、10年間で50億から100億円にも発展することが可能と思っておりますので、十分投資価値があると思います。

関係団体の皆様方には、“須賀川市発展”にも寄与するこの活動に、何卒ご協力いただけますようお願い申し上げます。

【理想的なクロスカントリーコースとは】

- ◆市民（小中学生）が気軽に利用できる場所であること。（市街地）
- ◆安全性が保たれていること。
- ◆陸上競技場（将来設置目標）併設又は、それほど離れていない場所
- ◆保全補修費用が低く抑えられること

http://www.nippo-c.co.jp/tech_info/general/SG09023_g.html

- ◆実業団や大学生が利用したいと思うようなトレーニング効果のあるコース条件

【コース設定＋α】

- ◆できればプールが近くにあること ⇒ 合宿等の過負荷トレーニング時には疲労回復目的として、プール利用が一般的な為
- ◆できれば銭湯が近くにあること（日帰り温泉でも可）
⇒ 疲労回復には、ゆったりとした入浴が効果的な為
- ◆宿泊施設からジョグで15分程度の距離
⇒ ウォームアップを兼ねてジョグ移動できる環境が合宿地としては理想的な為

以前、私水野が実業団現役時代、北海道夏合宿では、士別市と別海町でクロカンコースを利用していました。

<http://www.city.shibetsu.lg.jp/www/contents/1225183775375/index.html>

特に別海町では故佐々木監督がコース設計をされた理想的なコースでした。

http://blogs.yahoo.co.jp/runrun_an_chan/41547533.html

<http://www5.ocn.ne.jp/~e-asai/column/no008.html>

http://www.sekisui.co.jp/company/rikujou/blog/1194612_1264.html

今は全国に色々なコースが出来ていますが、ほんとうに何十年もトレーニングの場として、利用され続けられるコースは少ないと思います。

★他の施設に無い、魅力あるプラスα特徴をいかに作れるかが、成否をわけるポイントともなってきます。

施策のポイント

- ・中長期的なスポーツ振興策の一環としての取組
※陸上競技だけでなく他のスポーツ競技にも貢献できる
子供たちの為の、施設提供を目指す。
- ・長期的目標として、陸上競技場を市内に作る事を同時に目指す。
- ・経済効果を算出し、ソフト面での取組み方も強化する事。
※人的面での担当者の雇用等。
目玉となる大会運営を目指す。
- ・ウルトラマン(円谷プロダクション)との協力関係
※マスメディアへのPRを大々的にプロモーションする。
- ・須賀川市が単に“復興”にとどまらず“未来”に向けて、特色ある
まちづくりに取り組んでいることを宣言すべきと思います。

クロスカンントリーコース設置候補地

1. 牡丹台傍

※将来「陸上競技場」を設置する事を想定し、
クロカンコースを作る案。

2. 翠ヶ丘公園内

3. 須賀川アリーナ傍、河川敷

4. 市民スポーツ広場

5. 浜尾遊水地

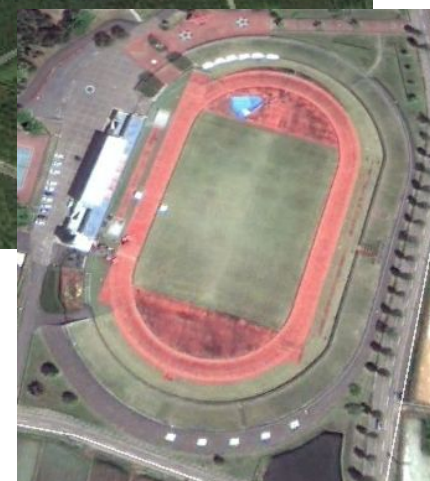
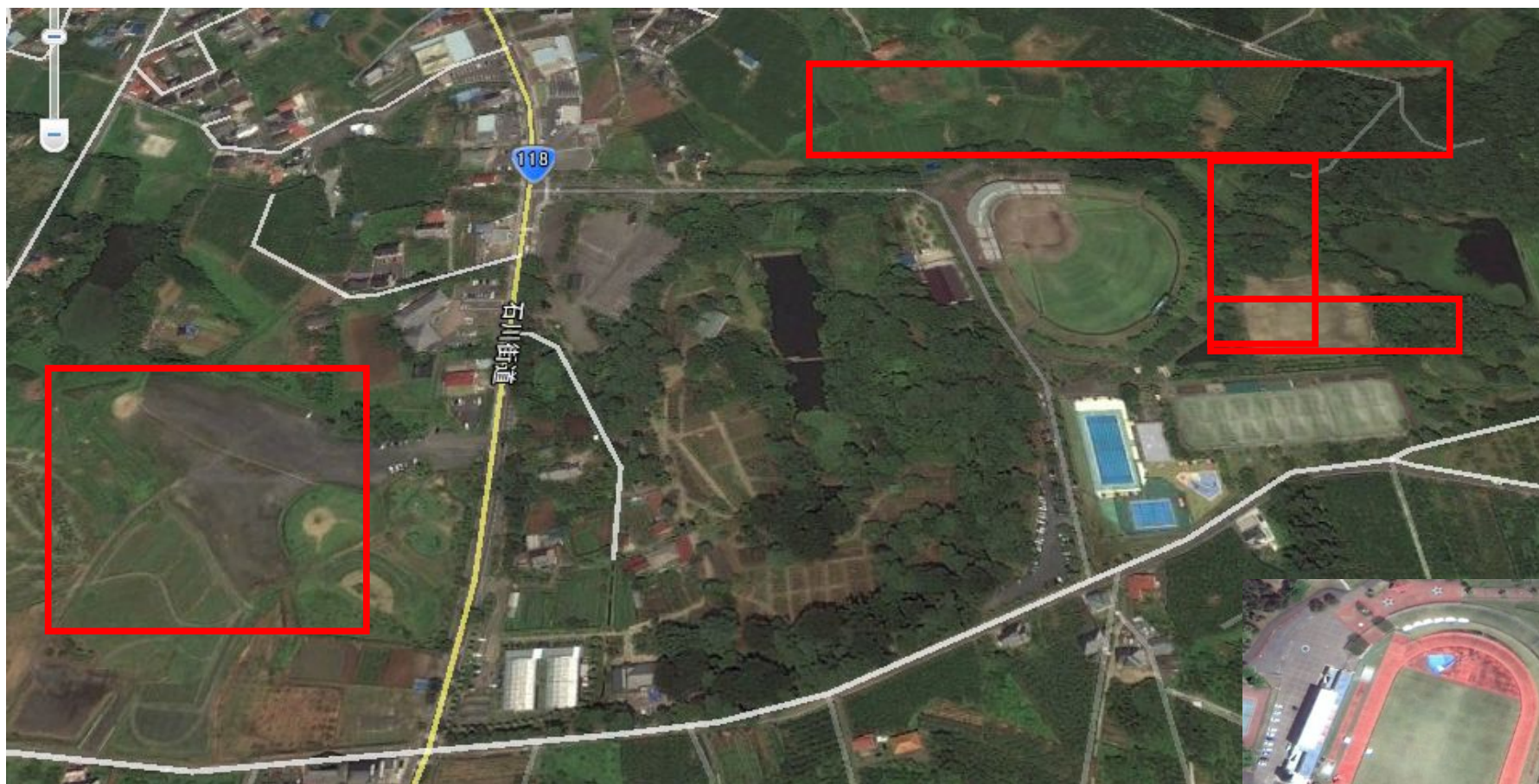
クロスカントリーコース設置候補地(須賀川市内5箇所)



【1案】・牡丹台クロカン設置



【1案】・牡丹台クロカン設置



【2案】・翠ヶ丘公園内クロカン設置



【2案】・翠ヶ丘公園内クロカン設置



【3案】・須賀川アリーナ傍、河川敷クロカン設置



【3案】・須賀川アリーナ傍、河川敷クロカン設置



【4案】・市民スポーツ広場クロカン設置



【4案】・市民スポーツ広場クロカン設置



【5案】・浜尾遊水地クロカン設置



【5案】・浜尾遊水地クロカン設置

